

「もの」の本質を追求する物理学と「こと」をめぐる学問である情報科学とは、一見すると対極的なようですが、実は、さまざまなところで深くつながっています。そもそも、本国際会議の主題である統計物理学は、数多くの「もの」が集まったときに新たに生まれてくる「こと」を研究する物理学の分野なのです。古くから情報科学とも密接に関わってきました。西森秀稔さんは日本を代表する統計物理学の研究者です。統計物理学や量子物理学と現代的な情報科学を結びつけた重要な業績【スピングラスにおける「西森ライン」の発見とその情報科学への応用、量子アニーリングの方法の提唱】で世界的に知られています。本講演では、物理学の専門知識のない一般の方を対象に、量子アニーリングとその量子計算機での実装やスピングラスの統計物理学と情報の関わりについて話していただきます。物理法則に従うスピン（小さな磁石）たちが数多く集まったとき、情報を担い、高い計算能力を発揮するという驚くべきストーリーを発見者ご自身の解説でお楽しみください！



講演

西森秀稔

東京工業大学特任教授

市民公開講座

物理と 情報の 交差点

参加費無料・要事前申し込み



定員 先着1000名

申込URL <https://www.statphys28.org/publiclecture.html>

申込締切 2023年8月9日（水）（ただし定員を超えた時点で打ち切り）

問い合わせ statphys28.loc@gmail.com

東京大学 安田講堂

2023年 8月 10日 木

13:30~15:00(開場13:00)